



中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトの進捗状況（三郷市）

～令和5年6月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取組を実施～

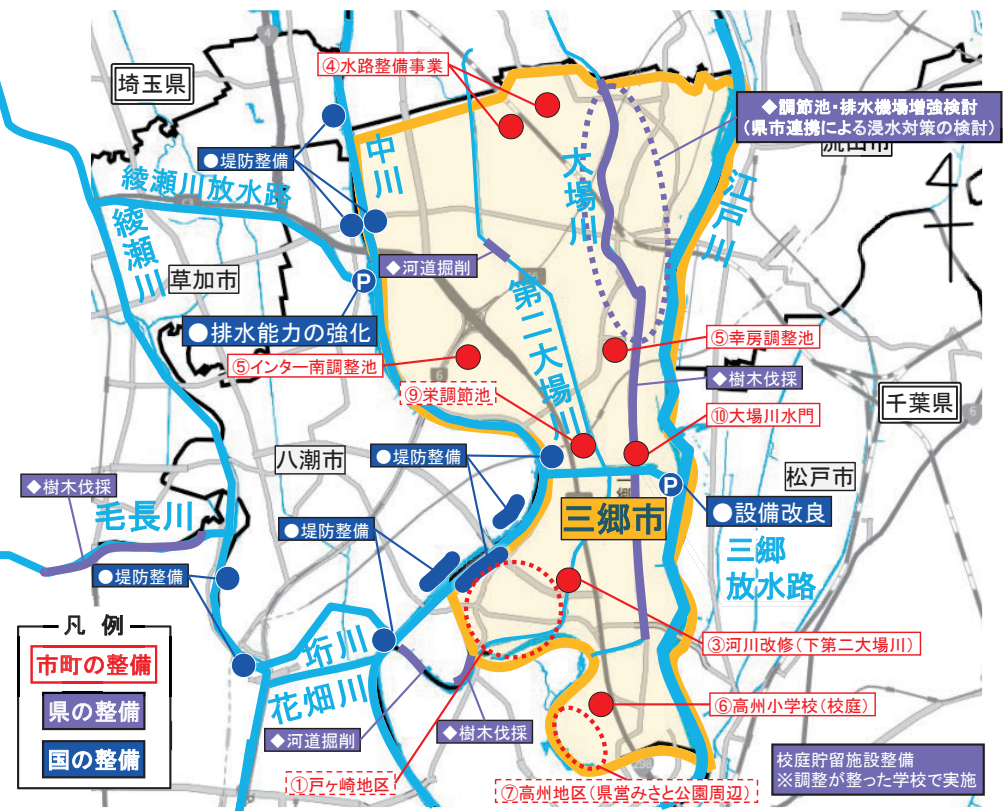
【R7.11末時点】

○三郷市では、「**氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**」として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備、排水路の整備、雨水貯留施設の整備などの検討や国・県との連携による施設の運用を図ってまいります。「**被害対象を減少させるための対策**」として、特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整を実施します。また、「**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**」として、浸水箇所を早期に把握し、早期復旧に努めるとともに、マイ・タイムラインの普及等を促進し、避難体制の強化を図ってまいります。

<位置図> 茨城県



みさとしちゅうおう
三郷市中央地区(令和5年6月3日)



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

対策内容	対象地区	主体	進捗率		
			20%	40%	100%
①排水ポンプ施設の整備	戸ヶ崎地区	市	10%		
②排水ポンプ施設等の中央監視及び遠隔操作設備の整備	市内各所	市		80%	
③河川改修	下第二大場川	市		90%	
④排水路の整備	市内各所	市		70% (R7年度施工箇所)	
⑤調整池の浸水対策検討	幸房調整池、インター南調整池	市		100%	
⑥雨水貯留施設の整備	高州小学校	市		70%	
⑦雨水貯留施設の整備	高州地区	県市	10%		
⑧既存調整池等の弾力的運用	市内各所	市		100%	
⑨調整池施設の弾力的運用	栄調整池	県市	20%		
⑩大場川水門の弾力的運用	大場川水門	国市		80%	



※ 国による「河川整備【中川】」、県による校庭貯留施設整備の進捗状況は別紙のとおり



●被害対象を減少させるための対策

- 令和6年度は、流域水害対策計画の策定に向けた調整を行い、令和7年3月に計画が策定されました。

流域水害対策計画の策定

令和7年3月策定済

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 令和6年度は、「複数のメディアへ送信する機能」のある防災行政無線放送機器の導入を行いました。
- また、小型浸水センサを市内の道路冠水が発生しやすい地区7箇所に設置しました。
- 令和7年度は、避難所体制の強化・拡充のため、民間事業者等と新規の協定締結を進めています。

